

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：労働費 項：職業訓練費 目：職業訓練校費

事業名 校務事務統合管理システム運用事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部労働雇用課職業能力開発係 電話番号：058-272-1111(内3668)

E-mail：c11367@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 2,215 千円 (前年度予算額：12,922 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	12,922	12,922	0	0	0	0	0	0	0
要求額	2,215	0	0	0	0	0	0	0	2,215
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

国際たくみアカデミーでは、令和2年度以降オンラインによる職業訓練を可能にするため、タブレット端末やWifi環境を整備している。

訓練生の多様化(留学生の増等)や、コロナ禍による企業からの求人数の減少により、生活指導・就職支援等、指導員業務の多様化が課題となっているため、簡素化が可能な校務事務全般の抜本的見直しが求められている。

訓練生や年々増え続ける卒業生のセンシティブデータを適切かつ安全に管理し、証明書発行等のサポートを充実させるため、従来の手書き・データ転記がメインの校務事務について、統合的に業務を一括管理できるシステムを構築し、効率化・簡素化・迅速化を実現する必要がある。

(2) 事業内容

国際たくみアカデミーにおける校務事務を統合管理するシステムの構築費及び保守費

(3) 県負担・補助率の考え方
県

(4) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	2,215	校務事務統合管理システムの保守・運用費用
合計	2,215	

決定額の考え方

--

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

国際たくみアカデミーの校務事務について、令和4年度中にシステム構築を行いICT化を促進するとともに業務の一元化を行う。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						

○指標を設定することができない場合の理由

業務効率化・インシデント防止のための統合的なシステム構築であり、新たに予算要求するため指標を設定することが困難。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p>
令和3年度	<p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和4年度	<p>令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない</p>	
(評価) 3	<p>・岐阜県DX推進戦略会議の中で、業務のデジタル化を進め、生産性の向上で生じた時間を県民へ還元することが提言されている。 ・生活指導・就職支援を中心とした指導員の業務の多様化の課題解決、指導の質向上や訓練生へのサービス還元のため、校務事務を統合的に管理するシステムを導入することで、校務事務全体の見直しを行う。</p>
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 2	<p>令和4年度中に構築、令和5年度から稼働となる。</p>
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている</p>	
(評価) 1	<p>令和4年度中に構築、令和5年度から稼働となる。</p>

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項</p>

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	